

## あすなろ

発行 沖電気の職場を明るくする会（OAK） TEL 03-3455-6006  
東京都港区三田3-2-20 FAX 03-3451-3595  
メール：oak@fine.memail.jp



沖電気の職場を明るくする会



春闘結果にご意見を！  
投稿お待ちしております

<http://oak47.hp.infoseek.co.jp>

# 家計を破壊する会社提案 これで沖電気を再建できるの

## 特別協定休日は 二年連続の賃下げ

○三年の生活改善闘争が集約しました。賃金体系の維持と一時金三、六ヶ月＋（分は二〇〇三年度予算達成が前提）は決まりましたが、なぜか割り切れないものが残りました。闘争時に会社が提案した特別対策案が集約後の課題として残されたからです。

闘争時には「生活や職場実態を顧みない対策は到底理解できない」と言っていた組合が団体交渉直後の労使協議会では二〇〇三年度対策は企業の存続と私たちの雇用確保のために必要と判断すると肯定し第四回中央委員会議案として提案しました。その後、会社は特別協定休日の具体的日程を会社案として職場で説明しています。まだ組合が論議しているのに決まったことのように日程を提案する会社に組合員から怒りの声が起こっています。

提案の内容は  
昇給時期の繰り延べ。例年四月の昇給時期を二〇〇四年一月からにする  
特別協定休日の新設。無給の特別協定休日を八日間設定しその分の基準内賃金の調整。フレックスタイム制の休止。



### 組合提案に 広がる職場の怒り

「加算給もグレード給も現行通りの金額でまったく賃上げしないのになんでまた、賃下げなんだ」  
「賃上げはだめかなと思っていましたが、休みを増やして賃金減らすなんて会社はやりかたがきたないよ」  
「今でさえ公休を切り捨てているのに八日間も休ませられたら切り捨て公休が増えるだけだよ」  
「子どもを保育園に連れてゆくのフレックスを利用していい。フレックスの休止になると毎日遅刻、会社も嫌がらせだよ」  
「家族手当の廃止がなくなつてホッとしたのに賃金カット。組合って俺たちの生活が苦しくなるような提案をなんでするんだろ」

### 特別協定休日に こんな問題が

労働基準法第二六条（休業手当）では「使用者の責に帰すべき事由による休業の場合において、使用者は、休業期間中当該労働者にその平均賃金の百分の六〇以上の手当を支払わなければならない」と明確に定めています。労使の団体交渉の場でも、法

律に触れないよう組合と協定して提案するようお願いしている。と答え、会社だけの提案では法に抵触することを承知しています。

今回の組合の議案が提案どおり集約されれば労基法違反にはならないでしょう。しかし、組合員の生活を守る組合が二百億円以上の営業利益をあげるために組合員の生活レベルを下げる提案をしてよいのでしょうか。

さらに労働基準監督署の見解では、休業補償は、労働日が決まっているその労働日を休日にする場合の補償でありこれから二〇〇三年度がはじまるのであるなら問題はない。

労使で労働日を協定し、その期間に入った状態では無償の休日増は違反。二〇〇三年度年間カレンダーが決まっているが二〇〇三年度に入っていないので変更すれば大丈夫。

現在中央委員会議案は職場で討議されています。もし、原案どおり可決されても、労使協定されるのはそのあとです。二〇〇三年度の始まりは三月二十一日です。二〇〇三年度に入っていると思うのですが。

あなたの  
賃下げ額はいくら

基準内賃金 ÷ 155.76 = 時給

時給 × 7.75 × 8日 = 年間賃下げ額



携帯電話の普及は今や小学生まで持つほど広まっている。電車内でのマナー

も常識はずれな使い方をみなくなったはずだった。ある日の電車でのこと、少しお酒を飲んで三十代位の男性が携帯電話を取り出して大きな声で話し始め、終わる様子がない。内心うるさいなと思いつつながらも後のことを考えるとなかなか注意できるものではない。私の近くに立っていた五十代の男性が「うるさいよ」と一言。その後の展開は心配していた通りだった。注意された男性は「おい、次の駅でありろよ」注意した男性は「いや、ぼくは降りない」ドキドキしながら私は「やめなさいよ」離れたところから「やめる酔っ払い」「お母さんが悲しむわよ」と男性と女性の声。車内の雰囲気は注意した男性に加勢をしていた。やっと三十代の男性が電車を降りていくと注意した男性は「黙っていたほうがよかったんですかねえ」とため息。肩がぶつかったから、と殺人事件になってしまふ世の中は異常だ。巻き込まれるのがイヤと傍観者になってしまう場合が多いが、からまれているのが自分だったら「こんなに人がいるのに誰か助けて！」ときつと思うはず。車内にいた人たちは男性が車両から引きずり降ろされようとしたら反対側から引っ張って助けなきゃと思っていたに違いない。「ふ」

# 米・英は無法な戦争を直ちにやめろ

もりみか

森住卓さんの写真集「イラク湾岸戦争の子どもたち」

(高文研)を見た。生まれつき脳の大部分が欠落した「無脳症」の子どもの悲惨な写真、白血病の治療を受けている少女の澄んだ瞳。栄養失調で入院した子ども。ミルクを飲むお金もなく赤ちゃんをただ見つめているだけの母親。一日に四〇五人が埋葬される戦争後にできた子ども専門の墓地。湾岸戦争から約十年間で死者約百六十万、半数以上が五歳以下だという。原因は米軍が戦車への攻撃で貫通性を高めるために使った劣化ウラン弾の放射能の影響といわれる。空爆で助かって、医療機材や薬品の不足などの戦争の後遺症でいまだに子どもたちが亡くなっている。

その戦争が再びイラクで開始された。ブッシュ大統領は叫ぶ。「武装解除のため」「各国共通の防衛のため」「脅威を取り除くため」と。

戦争が始まると必ず正義が叫ばれるが空爆におびえる子どもたちの声が聞こえないのだろうか。日本の小泉首相はアメリカの戦争に間髪をおかず支援すると発表した。アメリカに尻尾を振る小泉内閣と与党の自公の姿勢がいかに、

世論と離れているかますます明らかになっています。

しかし、戦争反対の世論は大きく高まっています。三月二十日は本庄でもイラク戦争反対の提灯デモ、二十一日は全国の高校生が渋谷で集会後アメリカ大使館への抗議行動

明治公園で芝公園で多くの人が戦争反対に立ち上がっています。世界では報道されただけでも、ドイツ二十万人、イタリア十五万人、パリ七万人などの反戦の行動が取り組まれています。参戦したイギリスでも国民は反対行動に立ち上がりブレア政権を揺るがし、与党内からも造反者がでています。戦争反対で世界中が運動に立ち上がっています

戦争で一番の犠牲者は女性や子どもたちなどの弱い人々です。アメリカ・イギリスはこの無法で非人道的な戦争を直ちに停止すべきです。

最後に第2次世界大戦で日



本で唯一の地上戦が行われた沖繩の平和祈念館に掲げられた詩を紹介しします。

沖繩戦の実相に

ふれるたびに

戦争というものは

これほど残忍で

まみれたものはないと思うのです

このなまなましい

体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し

美化することはできないはず

戦争をおこすのは

たしかに人間です

しかしそれ以上に

戦争をおこさない

努力のできるのも

私たち人間ではないでしょうか

戦後このかた私たちは

あらゆる戦争を憎み

平和な島を建設せねば

と思いつづけて

きました

これが

あまりにも大きすぎた

代償をはらって得た

ゆずることのできない私たちの信条なのです

## 跳ね返した 転籍申し入れ

沖エアホルク

先月、沖エアホルクから関連会社のエールテックスへの「転籍の申し入れ」がされました。四十歳以降は、業務ランクによって順次転籍を進めるというもので、五十歳までに係長以上にならないと転籍になるというもの。一昨年も同様の申し入れがあり、その時は組合もすぐに反対を表明しましたが今回は六十五歳までの「雇用延長」が盛り込まれていることもあって困惑の様子。「誰もが係長になれるわけではない」「安心して働けない」などの議論もあり、最終的に職場委員会採決の結果「申し入れ」に反対が賛成を上まわり執行部は「反対」の回答をし、今回も押し返しました。

## なんて身勝手な……

(群馬支部)

「今年度の売上げを達成するために情報関連が頑張らなければならぬ。年度末まで残業に協力してもらいたい」と、「創業以来の危機」を脱するための協力をお願いされて、連日三時間、時には四時間の残業も。多少調子が悪くても「期待」に応えようと無理をした人もいます。その結果「何とか目標を達成できるところまで来ました。協力に感謝します」と、先日会社から謝意が述べられました。

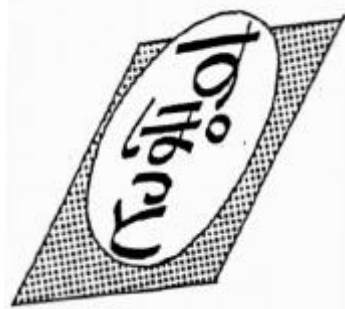
ところが、続いて話された内容は「これから売上げの伸びが期待出来ない。要員対策が必要で一〇〇名規模の人員削減をする。転進Bは三月で終了するので、希望者は申し出て欲しい」というもの。散々

残業に協力させておいて、今度は人減らしに協力しろと言ふ。「いい加減にしろ！」話しを聞いた後の率直な感想です。

## もう我慢も限界

八王子

会社の職場説明と労組の意向集約が同時に行われていました。「一年間の賃金カットは後で戻るのでやりくりしたが今回ののは承服できない」「賃上げなし、一時金の低額受給、残業セロ、健康保険の三割負担、もう我慢も限界」「年休



消化もできない中で休日増加は必要ない。会社つごうなら休業保障を」「二年続けた退職金査定基礎急凍結は問題だ。業績が回復次第遡及回復してほしい」身を縮める施策のみ先行し企業展望をいせめないなかでは幹部社員を含めモチベーションは下がるばかりです。

## フレックスやめないで

東京

妻と一日交代で子供の保育園への送り迎えをしています。保育園が始まるのは朝8時、子供を送り届けてから会社まで1時間ちよつと、出社時間は9時から9時半くらい。フレックスが休止されたら、この送り迎えも不可能になる。

フレックスはもう10年以上も続いていて、自分たちが結婚して住居を決める時にも普通に続くものと思っていたので、通勤時間1時間でもやっていたと考えると……。フレックスを休止しても、勤務する時間帯が移動するだけなのだから会社の経費削減になるわけでもないのに、まるで「通勤できない人はやめてもらってもいいんだよ」という嫌がらせのよう

## がんばれ若いお母さん

本庄

今、女性が結婚して働き続けることが大変困難になっています。本庄の職場では、子どもを生み、育て育児休暇をとりながら働いている若い女性たちがいます。いろいろ制度を利用しながらたくましく生き生きと働いている彼女たちにエールを送りたいと思います。

育児休業を利用して職場に出動した時には元職場が無くなってしまった人、ぎりぎりまで働く場所が決まらなかった人など、大変なストレスになっているのではないのでしょうか。そのうえに育児の不安、昔の子育てとは違う大変さを感じます。「疲れるのよ」「たいへんだけれど」と笑顔でこたえる彼女たち。こちらのほうが元気をもらいます。子どもを育てながら沖電気で働いてきた私は苦労がわかるだけに「若いお母さんががんばって」と声をかけたくなります。

